



令和元年6月10日
海上保安庁

海賊対策等のため巡視船つがるを派遣します！

～インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた 国際秩序の維持・強化を目指して～

海上保安庁は、東南アジア周辺海域等における海賊対策及び日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練実施のため、今月17日から約1箇月間、巡視船「つがる」をブルネイ・ダルサラーム国及びフィリピン共和国に派遣します。派遣中は、公海上でのしう戒を実施するほか、寄港地等での関係機関との連携訓練やワークショップ等を通じて、海上法執行能力の向上及び各国との連携・協力関係の強化を図ることとしております。これらの取組を通じて、インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に貢献します。

海賊をはじめとする海の安全を脅かす脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を実現することは、地域の平和、安定及び繁栄を支える上で不可欠なものです。海上保安庁では、東南アジア諸国等の海上法執行機関の能力向上支援の観点から、海賊対策として、平成12年から東南アジア周辺海域に巡視船を派遣しています。今回の派遣の概要等は次のとおりです。

1 派遣巡視船

函館海上保安部所属

巡視船つがる

(総トン数3,100トン、ヘリコプター1機搭載)



2 派遣国及び連携訓練等概要

(1) ブルネイ・ダルサラーム国

ブルネイは、我が国にとって主要な海上輸送ルートが存在する南シナ海に面し、長年にわたる貿易相手国(ブルネイのLNG総輸出量の約6割が日本)であるが、ブルネイ隣国のマレーシアやフィリピン周辺海域では海賊・武装強盗事案が発生している。

今回派遣では、その海上輸送ルート周辺海域の公海上をしう戒しつつ、ブルネイ王立警察の事務所が所在するムアラ港に寄港し、海上保安業務等に関するワークショップや意見交換を実施予定。

(2) フィリピン共和国

ア 近年、スルー海・セレベス海において船員の誘拐を目的とした海賊・武装強盗事案が発生していることを踏まえ、フィリピン政府により設定されたミンダナオ島南部バシラン海峡の推薦航路上において、フィリピン沿岸警備隊の巡視船と会合し、連携訓練を実施予定。

※スルー海・セレベス海における海賊・武装強盗事案発生件数(過去3年)

平成28年16件、平成29年7件、平成30年4件

イ 油防除分野での連携強化を図ることを目的に、海上保安庁、フィリピン沿岸警備隊及びインドネシア海運総局との排出油防除訓練をダバオ港沖合において実施予定。詳細については、別添1「日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練を実施します！」参照。

3 派遣日程

令和元年6月17日(月) 函館港出港/出港式典

6月26日(水) ムアラ港入港(ブルネイ・ダルサラーム国)
～ ブルネイ王立警察に対するワークショップ等

6月28日(金) ムアラ港出港
～ フィリピン沿岸警備隊との連携訓練

7月 1日(月) ダバオ港入港(フィリピン共和国)
～ 三国合同排出油防除訓練

7月 5日(金) ダバオ港出港

7月14日(日) 函館港入港/入港式典



4 取材について

(1) 巡視船つがるの出港式

日 時: 令和元年6月17日(月)午前9時30分から午前10時まで
(出港時間は午前10時頃)

場 所: 函館港万代埠頭北1号岸壁(北海道函館市万代町19-6)に係留中の巡視船つがる船上

※出港式の取材を希望する社は、別添2「取材申込書」により、6月12日(水)午後5時までに連絡をお願いします。後日担当より集合場所等を連絡します。

(2) 日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練

日 時: 令和元年7月1日(月)から5日(金)まで

場 所: フィリピン・ダバオ港沖合海域等

参加機関: 海上保安庁、フィリピン沿岸警備隊、インドネシア海運総局

※訓練等の取材を希望する社は、6月17日(月)午後4時までに環境防災課(Tel 03-3591-9819)まで連絡をお願いします。後日担当より集合場所等を連絡します。

【参考】

平成30年度における巡視船派遣及び平成29年度日本・フィリピン・インドネシア合同油防除訓練の状況

	
<p>フィリピン沿岸警備隊との連携訓練 (バシラン海峡) (平成 30 年 11 月)</p>	<p>インドネシア海上保安機関に対する 海上保安業務に関する研修 (平成 30 年 7 月)</p>
	
<p>海上保安監によるフィリピン 沿岸警備隊副長官表敬訪問 (平成 30 年 11 月)</p>	<p>日本・フィリピン・インドネシア 三国合同油防除訓練の状況 (平成 29 年 5 月)</p>